

(一社) 東洋音楽学会 西日本支部だより

Newsletter of the West Japan Chapter, Society for Research in Asiatic Music

第89号 (2019年4月2日)

定例研究会のご案内

東洋音楽学会 西日本支部 第 283 回定例研究会

(科研費基盤(C)「スリランカ系タミル人によるインド舞踊の発展と再々構築化に関する全体関連的研究」(研究代表者: 竹村嘉晃、16K03247) と合同開催)

日 時: 2019 年 4 月 20 日 (土) 13:30 - 17:10

場 所: 国立民族学博物館 4 階大演習室

※通用口にて国際ワークショップ参加の旨を告げて来客バッチを受け取り 4 階に上がってください。

交 通:

大阪モノレール 「万博記念公園駅」「公園東口駅」から徒歩 15 分

※「万博記念公園駅」から自然文化園を通過するルートは 250 円の入園料が必要となります。

バス 阪急茨木市駅・JR 茨木駅から 24/25 系統「日本庭園前」下車徒歩 15 分

例会担当: 福岡正太 (国立民族学博物館)

《国際ワークショップ》

“Globalization of Indian Dance: the Evolution of Bharatanatyam among Sri Lankan Tamils Communities”

南インドに起源をもつ古典舞踊のバラタナーティヤムは、地域や国を超えてグローバルに受容・上演されている。とくに欧米諸国では、インド系・南アジア系移民の増加にともない、インド芸能を教授する機関の数が増え、同コミュニティの子女や現地の人びとの間で人気を集めている。その影響から著名なインド人実演家も招聘され、ワークショップや公演などが盛んに行われている。本国際ワークショップでは、バラタナーティヤムのグローバルな発展において、これまであまり注目されてこなかったスリランカ系タミル人の存在に焦点をあて、イギリス・カナダ・シンガ

ポールという各地域の動態について報告し、グローバルな動向を理解する一つの手がかりを模索したい。(※同時通訳なし、発表・質疑応答は全て英語)。

Program

- 13:30 - 13:40 Opening Remarks
Yoshiaki Takemura (National University of Singapore /
National Museum of Ethnology)
- 13:45 - 14:30 Ann R David (University of Roehampton London)
'Performing for the Gods? Dance and Embodied Ritual in British Tamil
Hindu Temples'
- 14:30 - 15:15 Yoshitaka Terada (National Museum of Ethnology)
'A Craze for Dancing: Bharatanatyam and Sri Lankan Tamils in Toronto,
Canada'
- 15:15 - 15:45 Tea Break
- 15:45 - 16:30 Yoshiaki Takemura
'The Decline of Interests and the New Emerging Agencies:
Bharatanatyam and Sri Lankan Tamils in Singapore'
- 16:30 - 17:00 General Discussion
- 17:00 - 17:10 Closing Remarks
Shota Fukuoka (National Museum of Ethnology)

論文発表の募集

西日本支部定例研究会での修士論文・博士論文の発表を希望あるいは推薦される方は、論文題目、氏名、所属機関、連絡先（住所、電話、E-mail）を明記の上、下記の西日本支部事務局までお申し込みください。

(一社) 東洋音楽学会 西日本支部だより 第89号

発行：(一社) 東洋音楽学会 西日本支部

<http://tog.a.la9.jp/nishi/index.html>

〒565-8511 吹田市万博記念公園10-1

国立民族学博物館 福岡研究室気付

TEL 06-6878-8351, E-mail fukuoka@minpaku.ac.jp